



平成 25 年 3 月 6 日

各 位

会 社 名：株式会社トプコン
代表者名：取締役社長 内田 憲男
(コード番号：7732 東証第一部)
問合せ先：経理グループ統括
取締役兼専務執行役員 小川 隆之
(電話 03(3558)2536)

発行価格及び売出価格等の決定に関するお知らせ

平成25年2月26日開催の当社取締役会において決議いたしました新株式発行及び当社株式の売出しに関し、発行価格及び売出価格等が下記のとおり決定されましたので、お知らせいたします。

記

1. 公募による新株式発行（一般募集）

(1) 発行 価 格	1 株につき	859 円
(2) 発行 価 格 の 総 額		11,510,600,000 円
(3) 払 込 金 額	1 株につき	823.56 円
(4) 払 込 金 額 の 総 額		11,035,704,000 円
(5) 増加する資本金及び 資本準備金の額	増加する資本金の額	5,517,852,000 円
	増加する資本準備金の額	5,517,852,000 円
(6) 申 込 期 間	平成25年3月7日(木)～平成25年3月8日(金)	
(7) 払 込 期 日	平成25年3月13日(水)	

(注)引受人は払込金額で買取引受けを行い、発行価格で募集を行います。

2. 株式売出し（オーバーアロットメントによる売出し）

(1) 売 出 株 式 数		2,000,000 株
(2) 売 出 価 格	1 株につき	859 円
(3) 売 出 価 格 の 総 額		1,718,000,000 円
(4) 申 込 期 間	平成25年3月7日(木)～平成25年3月8日(金)	
(5) 受 渡 期 日	平成25年3月14日(木)	

3. 第三者割当による新株式発行

(1) 払 込 金 額	1 株につき	823.56 円
(2) 払 込 金 額 の 総 額	(上限)	1,647,120,000 円
(3) 増加する資本金及び 資本準備金の額	増加する資本金の額 (上限)	823,560,000 円
	増加する資本準備金の額 (上限)	823,560,000 円
(4) 申込期間（申込期日）	平成25年3月26日(火)	
(5) 払 込 期 日	平成25年3月27日(水)	

ご注意:この文書は、当社の新株式発行及び株式売出しに関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する新株式発行並びに株式売出届出目論見書及び訂正事項分（作成された場合）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

<ご参考>

1. 発行価格及び売出価格の算定

(1) 算定基準日及びその価格	平成 25 年 3 月 6 日(水)	886 円
(2) ディスカウント率		3.05%

2. シンジケートカバー取引期間

平成 25 年 3 月 9 日(土)から平成 25 年 3 月 19 日(火)まで

3. 今回の調達資金の使途

今回の公募増資の手取概算額 10,975,704,000 円及び第三者割当増資の手取概算額上限 1,637,120,000 円を合わせた手取概算額合計上限 12,612,824,000 円については、全額を研究開発資金に充当する予定であります。

当社グループは平成 24 年 6 月に公表した「中期経営計画 2014」において、企業成長のための重要な戦略として、「新興国・成長国市場」（中国、インド、ロシア、中南米等の近年成長が著しい地域）及び「新事業・成長分野」（光学技術と G P S 測位技術及び I T 技術を駆使した最先端の I T 土木施工事業、I T 農業事業及び 3 次元計測事業並びに眼科向け予防健診分野及び治療機器分野）に焦点を当てております。当該戦略の下、同経営計画においては平成 24 年度から平成 26 年度までの 3 ヶ年で累計 300 億円以上の研究開発投資を計画しており、上記研究開発資金への充当は、具体的には以下の通り行う予定であります。

- ① 高精度 G P S 測位技術と自動制御技術を核とする「ポジショニング・カンパニー」向けには計 50 億円を投じ、環境負荷を最小限に抑えつつ作業効率・生産性を向上させる I T 農業事業及び建設機械を自動的に制御し建設現場の生産効率を向上させる自動化施工事業に係る研究開発資金に充当いたします。
- ② 光学技術をベースに最先端の G P S 測位技術、レーザー技術、画像解析技術を融合した製品を提供する「スマートインフラ・カンパニー」向けには計 30 億円を投じ、モバイルマッピングシステム（*）等の最先端の光学・画像解析技術を活用した高精度な測定や位置情報収集を実現する 3 次元計測分野及び測量・建築現場で測距・測角等に幅広く利用されているトータルステーションの新製品開発資金に充当いたします。
- ③ 「眼」に関わる検査、測定、診断、治療等の機器を提供する「アイケア・カンパニー」向けには計 30 億円を投じ、網膜裂孔等の眼底患部治療にあたって患者の疼痛を低減する網膜レーザー治療器事業及び眼底や網膜内部を 3 次元で撮影をすることにより様々な眼疾患の早期発見・診断を可能とする眼底イメージング事業における技術開発のための研究開発資金に充当いたします。
- ④ 残額についてはその他の研究開発資金に充当いたします。

なお、調達資金の支出予定時期については、平成 25 年度から平成 26 年度の各年度において均等に充当する予定であります。

（*）モバイルマッピングシステム・・・車両にセンサーユニットを搭載し走行するだけで、周辺の 3 次元位置情報や 360 度の映像を収集し、最先端の画像処理技術で位置情報・映像情報付の地図作成や 3 次元バーチャル空間の作成が可能となるシステム

以 上

ご注意:この文書は、当社の新株式発行及び株式売出しに関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する新株式発行並びに株式売出届出目論見書及び訂正事項分（作成された場合）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。